

## 令和4年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	11	学校名	藤枝特別支援学校 焼津分校	校長名	山田 伸代
------	----	-----	---------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア 安全・安心	教職員の人権意識の向上	・他者への人権を意識した対応ができた教職員 100%	・100%	A	・指導の意図が生徒や保護者に届く伝え方の改善や工夫を継続。
	生徒の自己肯定感の育成	・聴取、アンケート結果に対応できた教員 100%	・100%	A	・生徒アンケートは継続。実施方法、集計方法については再検討。
	生徒自身の命を守る意識と行動力の育成	・安全教育が充実したと感じる教員 90%以上 ・必要な学習内容を取り上げることができた教員 90%以上 ・自分の取るべき避難行動がわかる生徒 100%	・93%	A	・交通安全の意識が向上した。 ・ヘルメット着用の努力義務化への対応。 ・生徒一人一人が防災アプリを利用できるようになった。
			・93%	A	
	性に関する正しい知識の定着	・人との適切なかわり方の指導方法や性に関する指導への理解が深まったと感じる教職員 100%	・73%	C	・個々の実態に応じた対応力強化に向け、専門家から性の指導を学ぶ研修を継続。
	業務の効率化による業務改善	・効率化が進み業務改善につなげた教職員 90%以上 ・計画的に業務を遂行できた教職員 100%	・80%	B	・2学期以降、長期にわたり欠員を補充できなかったが、学年や分掌を超えて取り組み、学校運営を継続できた。 ・時間外勤務 月 45 時間超 1 学期 17 人⇒ 2 学期 5 人
・80%			B		
イ 授業	主体的に活動する授業づくり	・生徒主体の授業づくりができた教員 80%以上	・93%	A	・セルフ・マネジメントの視点の導入が有効
	個々の専門性の向上	・自分の専門性を向上させた教員 80%以上	・87%	A	・特に LGBTQ の研修が指導に役立った
ウ 連携	水産高校及び焼津地域での共生・共育の推進	・共生・共育を推進できた教職員 100% ・地域との新たなつながり 最低 1 項目	・100% ・5 項目	A A	・生徒間の交流はもとより教員間の意思疎通が大切 ・分校の屋号入りビブスを着用して地域作業を実施。新規実習場所開拓 2 箇所。スターボックスでの美術作品展示。マリンスニーカーとの連携。
	生徒が将来の生活を具体的にイメージし、進路希望を実現するための情報共有、活用	・実習、職業、講話等に取り組み、進路に対する理解を深めた生徒 100% ・教育支援計画、指導計画を活用した指導や保護者面接ができた教員 100%	・93% ・92%	B B	・ライフスキルを意識した 3 年間にわたる系統的な指導の積み上げが課題。 ・生徒が主体者となる計画の作成、評価、改善ができる仕組み作りが課題。